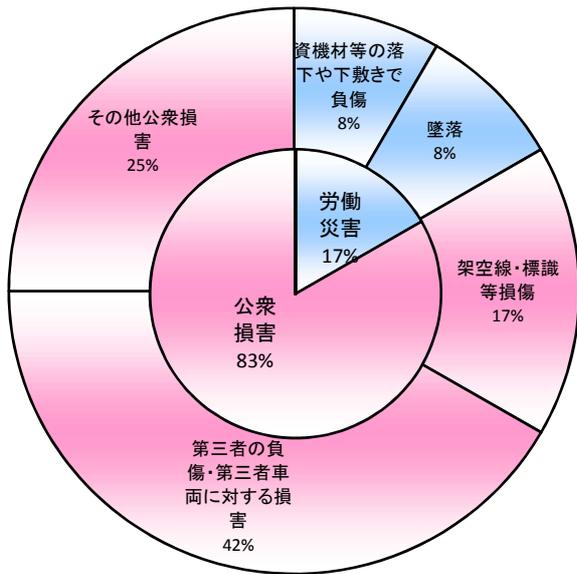




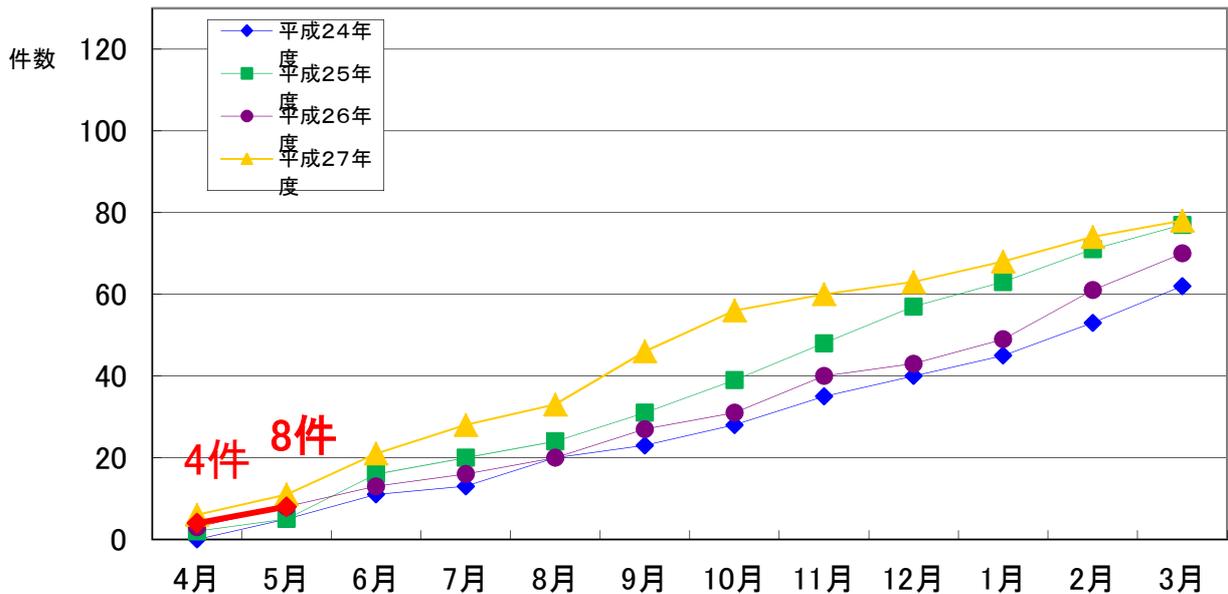
●平成28年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H26	H27	H28	過去3年間計
労働災害	建設機械等の稼働に関連した人身事故	4	4	0	8
	部材の加工作業等により自らを負傷	2	1	0	3
	資機材等の落下や下敷きで負傷	4	2	1	7
	墜落	6	7	1	14
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	0	0
	その他労働災害	14	13	0	27
小計		30	27	2	59
公衆損害	架空線・標識等損傷	8	13	2	23
	地下埋設物件損傷	7	4	0	11
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	21	17	5	43
	その他公衆損害	8	14	3	25
	小計	44	48	10	102
その他事故		1	5	0	6
計		75	80	12	167

● H28年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

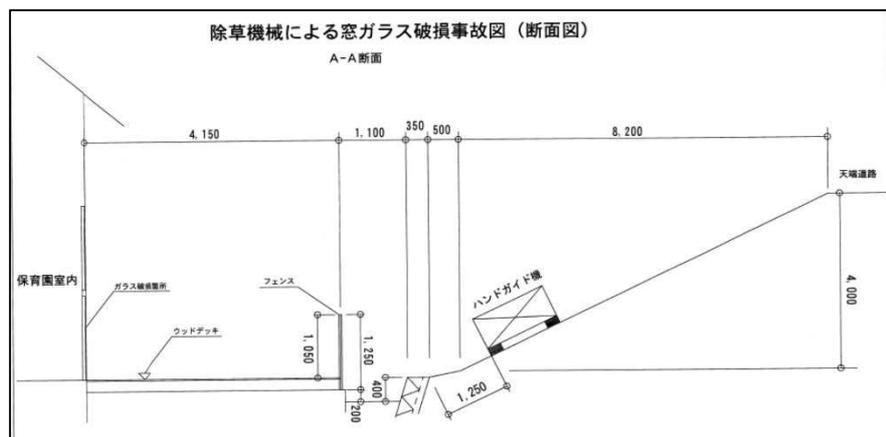
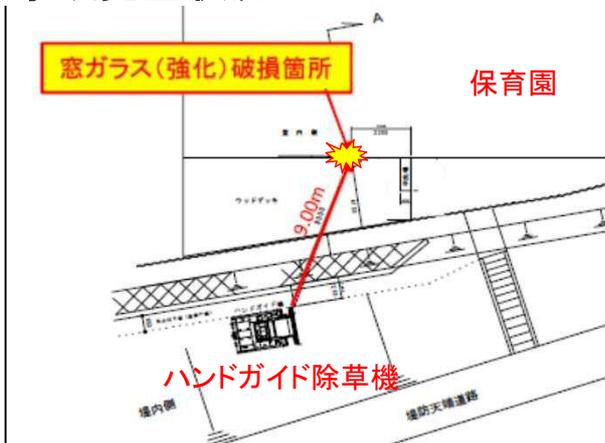


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
(月毎)	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	43件	49件	61件	70件
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(3件)	(6件)	(12件)	(9件)
平成27年度 累計	6件	12件	20件	29件	34件	46件	56件	60件	63件	68件	73件	77件
(月毎)	(6件)	(6件)	(8件)	(9件)	(5件)	(12件)	(10件)	(4件)	(3件)	(5件)	(5件)	(4件)
平成28年度 累計	4件	8件										
(月毎)	(4件)	(12件)										

■問合せ先:企画部 技術調査課 西村・古賀 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 28 年 5 月 13 日 (金) 10 時 30 分			
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	窓ガラス損傷(1枚)
事故概要	堤防除草作業(パロネス)の飛び石で保育園の窓ガラス1枚を破損させたもの			
	公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

### 事故発生状況



ハンドガイド式除草機にて除草中、飛び石が発生し、窓ガラスを破損

- ・ハンドガイド式除草機械で作業中に保育園の窓ガラスを飛び石で破損させた。
- ・作業手順書には飛び石危険箇所では飛び石防護柵を使用することとしていたが実作業に於いて使用しておらず、作業手順書どおりの施工がされてなかった。

#### 【事故発生原因】

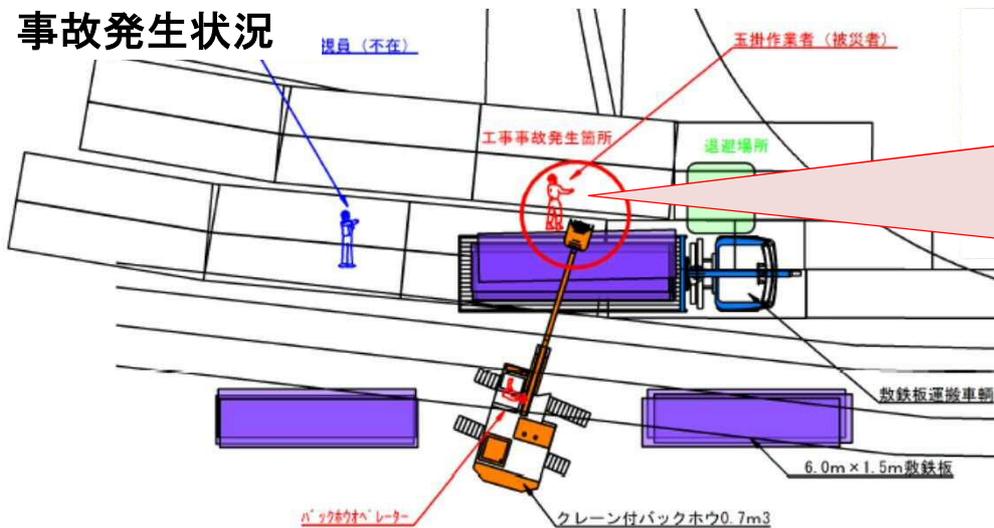
- ・飛び石防護措置の不足  
など

#### 【事故防止のポイント】

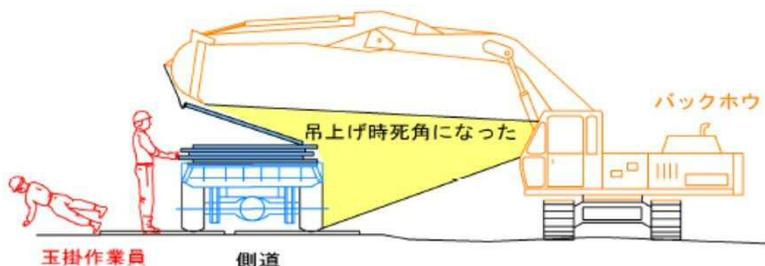
- ・除草作業を行う際は、飛び石防護措置(ネットなど)を必ず実施する
- ・作業手順書を遵守する  
など

発生日時	平成 28 年 5 月 13 日 ( 金 ) 14 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	43	運転手	脳内出血、脳挫傷
事故概要	敷鉄板を下ろす作業中、クレーンでつり上げた敷鉄板が振れ、フック架けをしていた作業員の右側頭部に触れ負傷したもの			
	労働災害-資機材等の落下や下敷きで負傷			

### 事故発生状況



### 事故状況断面図



- ・掘削土を運搬、仮置きする為に敷鉄板を貨物トラックよりバックホウを使用して荷卸し作業を行っていた。
- ・重機オペレータとトラック運転手(玉掛)の2人で作業を実施
- ・吊り上げ時、吊り金具の滑りズレが起き、敷鉄板が落下し、運転手が倒れていた。(※敷鉄板か吊り金具に直撃したと思われる。)
- ・敷鉄板のリースを行っていた運転手が玉掛けを行った。
- ・荷卸し作業において作業手順書では、玉掛け作業員・重機オペ・監視員の3人体制で実施することになっていた。(また、KYミーティングで決定された人員配置が守られていなかった。)

### 【事故発生原因】

- ・人員配置が守られていない(監視員がいない)
- ・吊り荷下へ立ち入ったなど

### 【事故防止のポイント】

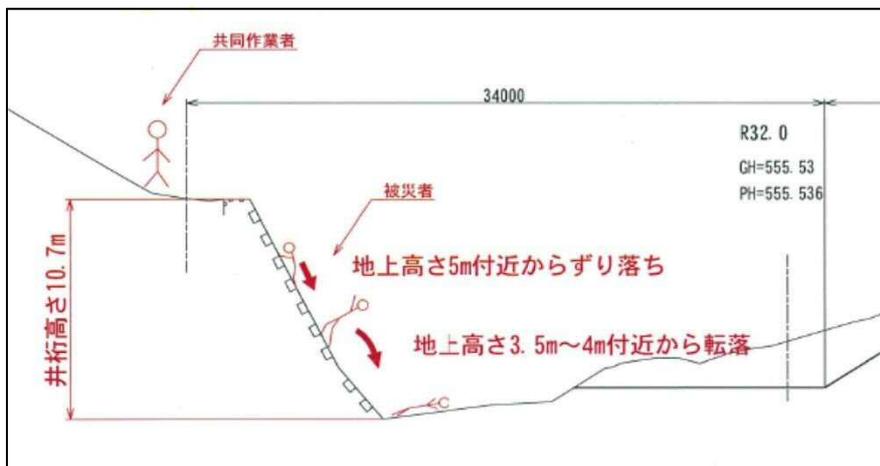
- ・作業手順書等を遵守する
- ・吊り荷下への立入禁止を徹底するなど

発生日時	平成 28 年 5 月 13 日 ( 金 ) 16 時 0 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	61	電気作業員	
事故概要	水中ポンプへ電線をつなぎ込むため、井桁護岸を下りたところ護岸中段から滑り落ち、河床に落下し、負傷したもの			
	労働災害-墜落			

### 事故発生状況



- ・水中ポンプへ電源をつなぎ込むため、井桁護岸を降りたところ護岸中段から滑り落ち、河床に落下し負傷
- ・作業床なし
- ・命綱を設けておらず、安全ロリップ等を使用していない

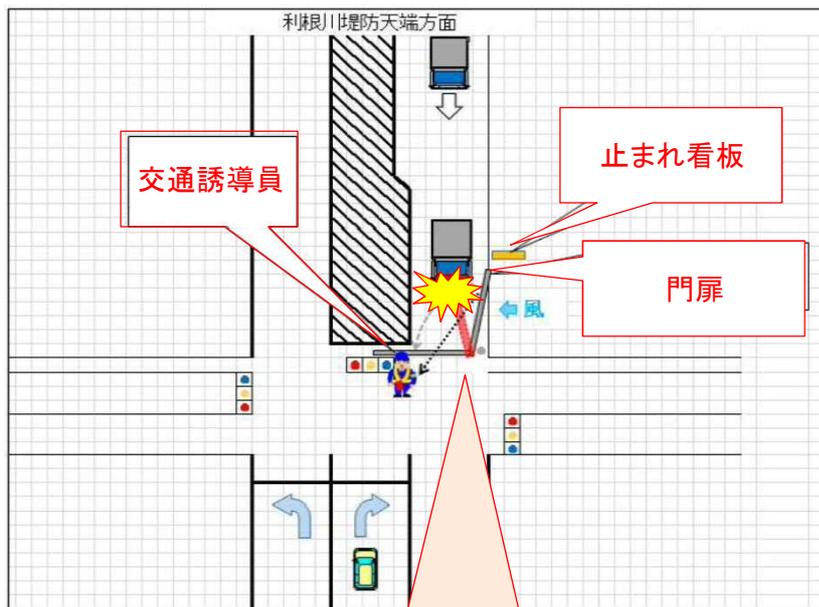


**【事故発生原因】**  
 ・安全に昇降するための設備がなかった  
 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・安全に昇降するための設備等を設ける  
 ・安全帯等の使用を徹底させる  
 など

発生日時	平成 28 年 5 月 18 日 (水) 13 時 0 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	工所用道路の門扉損傷
事故概要	ダンプトラックが工所用道路の門扉に接触し損傷させたもの(当該工事、誘導員が門扉を閉め忘れたことによるもの)			
	公衆損害-その他 公衆損害事故			

## 事故発生状況



交通誘導員が門扉を閉め忘れて、ダンプトラックに接触



- ・交通誘導員が昼休み後に工所用道路出入り口の門扉を開放した際、留め具による固定を怠ったため、強風により門扉が閉まり、通行中のダンプが接触した。
- ・交通誘導員はストッパーの認識がなかった。
- ・休憩中(午後作業の5分前)にダンプが近づいたため、門扉を開放した。

**【事故発生原因】**

- ・交通誘導員に対しての役割が周知徹底させていない
- ・門扉開放時間を守っていないなど

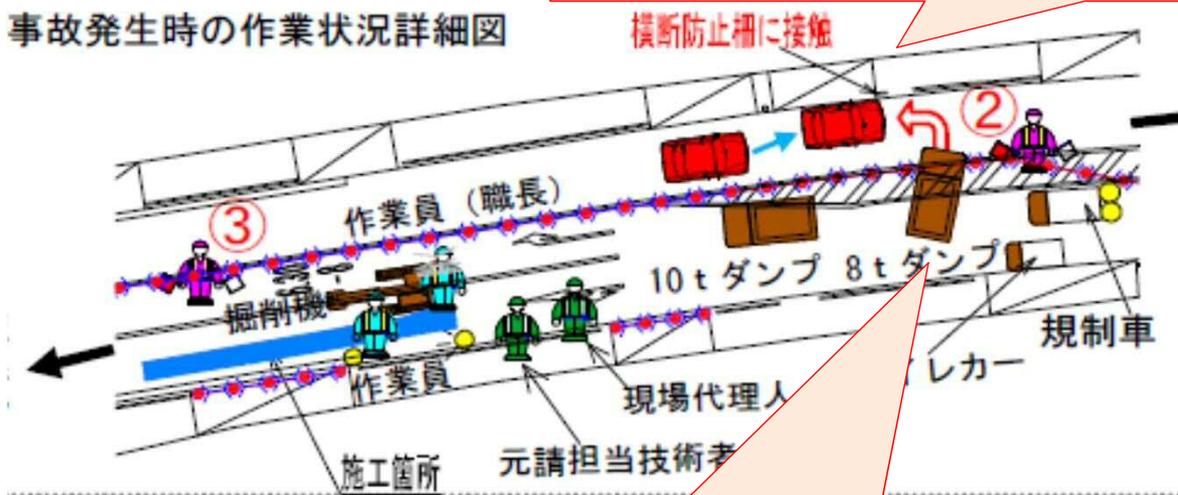
**【事故防止のポイント】**

- ・門扉開放ルールについて、周知・徹底を図る
- ・門扉解放時間の徹底を図るなど

発生日時	平成 28 年 5 月 25 日 (水) 2 時 7 分			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	一般車両損傷(バンパーに傷)
事故概要	規制帯内(1/2車線)から出た当該工事のダンプトラックを避けようとした一般車が縁石等に接触し、損傷したもの			
	公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

### 事故発生状況

事故発生時の作業状況詳細図



一般車が走行している際に、ダンプが規制帯内から出ようとした

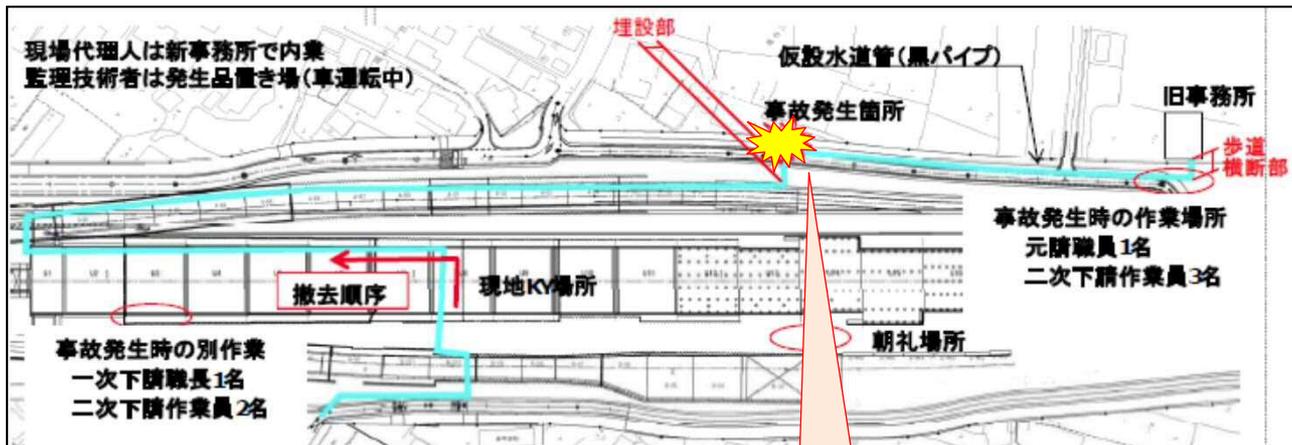
- ・8tダンプがバックホウの前へ移動するため、規制帯内で向きを変え、交通整理員②の誘導で規制帯から出ようとした。
- ・交通整理員②が前方から来る被災車両に気が付き、あわてて8tダンプを停止させた。
- ・規制帯から少し飛び出した状態で8tダンプは停止したが、被災車両運転手は衝突を避けるため左側にハンドルを切り、車の左バンパー、フェンダーが路側の縁石及び横断防止柵に接触した。
- ・保安要員③の「もうすぐ両側止めます」の無線に対し、交通整理員②が「もう両側止めました」の合図と勘違いし8tダンプを発進させた。
- ・交通整理員②は通行車両がいなくなったと思い込み確認が不十分であった。

**【事故発生原因】**  
 ・保安要員等の役割分担と合図が不明確であった  
 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・役割分担と合図を明確にし、周知徹底を図る  
 など

発生日時	平成 28 年 5 月 30 日 ( 月 ) 8 時 50 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	一般車両損傷(自転車)
事故概要	水道管の撤去作業中、仮囲いから飛び出た仮設水道管が自転車のタイヤに挟まり、一般の方が転倒 公衆損害-第三者の負傷・			

### 事故発生状況



事故再現状況

飛び出した仮設水道管に走行してきた自転車が接触

- ・単管バリケードに仮留しておいたパイプ端部が、仮留めが外れたことにより歩道から飛び出した。
- ・被害者(自転車運転手)は飛び出したパイプを認識していたが、柔らかいビニールホースだと思いそのまま通行しようとしたが前輪に引っかかり転倒。

**【事故発生原因】**  
 ・安全対策等の検討不足  
 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・第三者・第三車両に対しての安全対策を検討し、徹底させる。  
 など